子が生まれた日を含めて１４日以内に
子の本籍地、出生地、届出人の所在地の
いずれかに提出してください。

出　生　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日 第　号	発送	令和　年　月　日 長 印
送付	令和　年　月　日 第　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	調査票	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

生まれた子

(1) 子の氏名（外国人のときはローマ字を付記してください）（フリガナ）　氏　名　父母との続き柄　□嫡出子　□嫡出でない子　□男　□女

(2) 生まれたとき　令和　年　月　日　□午前　□午後　時　分

(3) 生まれたところ　番地　番　号

(4) 住所（住民登録をするところ）
世帯主の氏名　世帯主との続き柄　□子　□子の子　□その他（　）

生まれた子の父と母

(5) 父母の氏名　生年月日（子が生まれたときの年齢）
父　昭和 平成 西暦　年　月　日（満　歳）
母　昭和 平成 西暦　年　月　日（満　歳）

(6) 本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）　番地　番
筆頭者の氏名

(7) 同居を始めたとき　平成 令和 西暦　年　月（結婚式をあげたとき、又は、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）

(8) 子が生まれたときの世帯のおもな仕事と父母の職業
□１．農業だけ又は農業とその他の仕事を持っている世帯
□２．自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯
□３．企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が１人から99人までの世帯（日々又は１年未満の契約の雇用者は５）
□４．３にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々又は１年未満の契約の雇用者は５）
□５．１から４にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯
□６．仕事をしている者のいない世帯

(9) 父母の職業（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください）
父の職業　母の職業

その他

届出人

□１．父 □母　□２．法定代理人（　）　□３．同居者　□４．医師　□５．助産師　□６．その他の立会者　□７．公設所の長

住所　(4)欄に同じ
本籍　(6)欄に同じ　番地　番　筆頭者の氏名　(6)欄に同じ
署名（※押印は任意）　印　昭和 平成 西暦　年　月　日生

事件簿番号

連絡先
電話（　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。

子が生まれた日を含めて14日以内に本籍地、住所地又は出生地のいずれかの役場に出してください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。
子が外国人のときは、原則かたかなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

日本国籍を有する子の場合、名のフリガナ欄には、氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められている読み方を記載してください。
「嫡出子」とは、婚姻関係にある父母間に生まれた子で、「嫡出でない子」とは、婚姻関係にない父母間に生まれた子をいいます。

（記入例）嫡出子で最初の男の子の場合
☑嫡出子（長 ☑男 □女）
□嫡出でない子

生まれたところが、台湾またはパレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）である場合、地域から記載することができます。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

子の父又は母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届出人は、原則として子の父又は母です。
やむを得ない事由により、子の父又は母が署名できないときの届出人は、左の順位になります。
届出人が署名した後、届書を持参する方は親族、その他の方でもさしつかえありません。

御持参いただくもの
母子健康手帳

出生証明書

子の氏名		男女の別	1 男　2 女
生まれたとき	令和　年　月　日　午前 午後　時　分		
(10) 出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1 病院　2 診療所　3 助産所　4 自宅　5 その他	
	出生したところ	番地　番　号	
	(出生したところの種別1～3) 施設の名称		
(11) 体重及び身長	体重　グラム	身長　センチメートル	
(12) 単胎・多胎の別	1 単胎　2 多胎（　子中第　子）		
(13) 母の氏名		妊娠週数	満　週　日
(14) この母の出産した子の数	出生子（この出生子及び出生後死亡した子を含む）　人 死産児（妊娠満22週以後）　胎		
(15) 1 医師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。 令和　年　月　日 （住所） 番地　番　号 （氏名）		

記入の注意

夜の１２時は「午前０時」、昼の１２時は「午後０時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように１、２,３の順序に従って書いてください。

この欄は父、母又はその法定代理人である届出人が記載してください。

地方公共団体情報システム機構　宛
（出生届の届出地市区町村長　宛）

個人番号カード交付申請書　兼　電子証明書発行申請書

申請にあたり、以下について記入してください。
記氏名、住所、生年月日、性別は出生届に記載された内容と同じです
記住所地又は住所地以外の希望した送付先にて確実に個人番号カードを受けとれます

①利用者証明用電子証明書発行番号		□利用者証明用電子証明書の発行を希望しない	
②住民基本台帳用暗証番号【必須】		③券面事項入力補助用暗証番号【必須】	
④個人番号カード送付先【住所地以外への送付を希望する場合】			
⑤住所地において個人番号カードの受けることができない理由			
⑥連絡先電話番号【必須】			

(注)
①利用者証明用電子証明書を利用するための暗証番号です。
利用者証明用電子証明書…インターネットを利用するときなどに、利用者本人であることを証明する仕組みであり、健康保険証としての利用などに必要です。
利用者証明用電子証明書の発行を希望しない場合、①の欄に発行番号は記入せず、□に✓をつけてください。
②住民票コードをテキストデータとして利用するための暗証番号です。
③個人番号や基本４情報を確認し、テキストデータとして利用するための暗証番号です。
④個人番号カードは、簡易書留等により住所地へ送付されます。住所地以外の場所へ個人番号カードの送付先とする場合のみ記載してください。
※印省略。月生証明書に記載された事項は、この申請にも用いられます。
※電子証明書について、氏名のコンピューター入力に際して前項１に左欄に表示されない文字（代替対象文字）は、代替文字に置き換わります。
代替文字を変更したい場合は、個人番号カードの交付後に、住所地市区町村長へその旨を申し出てください。

※出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。
出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつくられず、不利益を被るおそれがあります。
詳しくは法務省のホームページをご覧ください。　無戸籍　法務省

（R8.2）

届出人の住所、本籍、筆頭者氏名の記載スペースを増やすために、
「(4)欄に同じ」「(6)欄に同じ」については「住所」「本籍」の直下からスタートするよう左寄せ。
筆頭者についても「(6)欄に同じ」を「筆頭者の氏名」の真横まで左寄せ。

市区町村使用欄	受付日時 令和　　年　　月　　日　午前・午後　　時　　分

婚　姻　届

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理　令和　年　月　日 第　号	発送　令和　年　月　日
送付　令和　年　月　日 第　号	長印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	調査票	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
夫
妻
（署名又は押印）

削除

		夫になる人	妻になる人
(1)	（フリガナ） 氏名	氏　名	氏　名
	生年月日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日
(2)	住所 （住民登録をしているところ）		
(3)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	番地 番	番地 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
	父母及び養父母の氏名 父母との続き柄 （右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください）	父 母　続き柄　男	父 母　続き柄　女
		養父 養母　続き柄　養子	養父 養母　続き柄　養女
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	□夫の氏 □妻の氏 新本籍（左の□の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 番地 番	
(5)	同居を始めたとき	平成 令和・西暦　年　月（結婚式をあげたとき、又は、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）　□結婚式をあげておらず、同居もしていない	
(6)	初婚・再婚の別	□初婚　再婚（□死別 □離別　年　月　日）	□初婚　再婚（□死別 □離別　年　月　日）
(7)	同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 妻　1．農業だけ又は農業とその他の仕事を持っている世帯 夫 妻　2．自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 夫 妻　3．企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が１人から99人までの世帯（日々又は１年未満の契約の雇用者は５） 夫 妻　4．３にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々又は１年未満の契約の雇用者は５） 夫 妻　5．１から４にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 夫 妻　6．仕事をしている者のいない世帯	
(8)	夫妻の職業	（国勢調査の年…　年…の４月１日から翌年３月31日までに届出をするときだけ書いてください） 夫の職業	妻の職業
	その他		
	届出人署名 （※押印は任意）	夫　印	妻　印
	事件簿番号		

住所を定めた年月日	
夫	□令和　年　月　日
妻	□令和　年　月　日

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
この届は、土日や休日でも届け出ることができますが、その場合は、あらかじめ窓口で確認を受けられることをお勧めします。
婚姻後の新住所地に住民登録をしていないときは、前住所地の役所の発行する転出証明書をそえて転入届をしてください。
ただし、転入届は役所の窓口の開いている時間でないと届出をすることはできません。なお、京都市内で住所がかわるときは転出証明書はいりません。
この届と同時に転入届を出すときは、住所欄には新しい住所を書いてください。

証人		
署名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日
住所		
本籍	番地 番	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川　西岸地区及びガザ地区）

↓スペース不要

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。

市区町村使用欄	本人確認		
	届出人	確認内容	通知
	夫	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
	妻	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
	不受理申出の提出がないことを確認済		
	届出人	確認先	
	夫	（　）役所・役場 担当者（　）□端末確認	
	妻	（　）役所・役場 担当者（　）□端末確認	
	通知	令和　年　月　日	
	本人確認	不受理申出確認	通知
	新本籍確認済		□済
	住所地確認済		□夫 □妻

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

婚姻前の氏名で必ず本人が書いてください。

連絡先	
夫	妻
電話（　）　－	電話（　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　）	自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

使者	住所			
	氏名		確認	済（マ・免・旅・　）・未

（R8.2）

死　亡　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 長印
送付 令和 年 月 日 第 号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	調査票	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加人
（署名又は押印）

削除

(1) （フリガナ）
(2) 氏名　氏　名　□男　□女
(3) 生年月日　昭和・平成 西暦・（　）年　月　日（生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください）□午前 □午後　時　分
(4) 死亡したとき　令和　年　月　日　□午前 □午後　時　分
(5) 死亡したところ　番地　番　号
(6) 住所（住民登録をしているところ）
(7) 本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）　番地　番　筆頭者の氏名
(8)(9) 死亡した人の夫または妻　□いる（満　歳）　いない（□未婚　□死別　□離別）
(10) 死亡したときの世帯のおもな仕事と
□1．農業だけ又は農業とその他の仕事を持っている世帯
□2．自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯
□3．企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々又は1年未満の契約の雇用者は5）
□4．3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々又は1年未満の契約の雇用者は5）
□5．1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯
□6．仕事をしている者のいない世帯
(11) 死亡した人の職業・産業（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください）　職業　産業
その他

届出人
□1．同居の親族　□2．同居していない親族　□3．同居者　□4．家主　□5．地主
□6．家屋管理人　□7．土地管理人　□8．公設所の長　□9．後見人　□10．保佐人
□11．補助人　□12．任意後見人　□13．任意後見受任者
住所
本籍　番地　番　筆頭者の氏名
署名（※押印は任意）　印　昭和・平成 西暦・（　）年　月　日生

事件簿番号

死亡者からみた届出人との続柄　→ 具体的に御記入ください。例）× 姪 ⇒○妹の長女 ×いとこ⇒○母の兄の長男

連絡先
電話（　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

御持参いただくもの
届出人が成年後見人等の場合は、登記事項証明書等の提出が必要です。

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
死亡したことを知ったH を含めて７H 以内に出してください。
□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
死亡したところが、台湾またはパレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）である場合、地域から記載することができます。
「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）
内縁のものはふくまれません。
死亡者について書いてください。
届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管＝以下※）、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録（※）、高齢者の医療の確保に関する法律に基づくレセプト情報・特定健診等情報データベース（※）、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく所要の感染症対（※）にも用いられます。
※　死亡届の届出先は、死亡地、死亡者の本籍地、届出人の所在地に限られます。

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

- 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。
- 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」、と書いてください。
- 「5 老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。
- 死亡したところの種別で「3 介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。
- 傷病名等は、日本語で書いてください。
  I 欄では、各傷病について発病の型（例：急性）、病因（例：病原体名）、部位（例：胃噴門部がん）、性状（例：病理組織型）等もできるだけ書いてください。
- 妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。
- 産後1年未満の死亡の場合は「妊娠満何週、産後満何日」と書いてください。
- I 欄及びII 欄に関係した手術について、術式及はその診断名と関連のある所見等を書いてください。
  紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。
- 「2 交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。
  「5 溺、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。
- 「1 住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。
- 傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。
- 妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
  母子健康手帳等を参考に書いてください。
- 記名ではなく、署名をしてください。

(12)(13) 死亡したところ及びその種別
死亡したところの種別　1 病院　2 診療所　3 介護医療院・介護老人保健施設　4 助産所　5 老人ホーム　6 自宅　7 その他
死亡したところ　番地　番　号
（死亡したところの種別1-5）施設の名称　（　）

(14) 死亡の原因
◆I 欄、II 欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください
◆I 欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください
◆I 欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください
ただし、欄が不足する場合は（エ）欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください

		発病（発症）又は受傷から死亡までの期間
I	(ア) 直接死因	
	(イ) (ア)の原因	
	(ウ) (イ)の原因	
	(エ) (ウ)の原因	
II	直接には死因に関係しないがI 欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	

◆年、月、日等の単位で書いてください
ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください
（例：1年3か月、5時間20分）

手術　1 無　2 有（部位及び主要所見）　手術年月日　令和 平成 昭和　年　月　日
解剖　1 無　2 有（主要所見）

(15) 死因の種類
1 病死及び自然死
外因死　不慮の外因死　2 交通事故　3 転倒・転落　4 溺水　5 煙、火災及び火焔による傷害　6 窒息　7 中毒　8 その他
その他及び不詳の外因死　9 自殺　10 他殺　11 その他及び不詳の外因
12 不詳の死

(16) 外因死の追加事項
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください
傷害が発生したとき　令和・平成　年　月　日　午前・午後　時　分
傷害が発生したところ　都道府県　市区　郡町村
傷害が発生したところの種別　1 住居　2 工場及び建築現場　3 道路　4 その他（　）
手段及び状況

(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項
出生時体重　グラム
単胎・多胎の別　1 単胎　2 多胎（　子中第　子）
妊娠週数　満　週
妊娠・分娩時における母体の病態又は異状　1 無　2 有［　］3 不詳
母の生年月日　昭和 平成　年　月　日
前回までの妊娠の結果　出生児　人　死産児　胎（妊娠満22週以後に限る）

(18) その他特に付言すべきことがら

(19) 上記のとおり診断（検案）する
（病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所）
（氏名）　医師
診断（検案）年月日　令和　年　月　日
本診断書（検案）発行年月日　令和　年　月　日
番地　番　号

（R8.2）

市区町村使用欄	受付日時 令和　年　月　日　午前・午後　時　分

通知	令和　年　月　日	
本人確認	不受理申出確認	通知

本人確認		
届出人	確認内容	通知
養父	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
養母	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
養子	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要

不受理申出の提出がないことを確認済	
届出人	確認先
養父 養母	（　　）役所・役場 担当者（　　）□端末確認
養子	（　　）役所・役場 担当者（　　）□端末確認

養子縁組届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　　号		長印
送付	令和　年　月　日		
	第　　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
この届は、土日や休日でも届け出ることができますが、その場合は、あらかじめ窓口で確認を受けられることをお勧めします。
養子になる人が未成年で養親になる人が夫婦のときは、夫婦が一緒に縁組をしなければなりません。
養子になる人が未成年のときは、あらかじめ家庭裁判所の許可の審判を受けてください。
（養親になる人及びその配偶者の直系卑属を養子とするときは家庭裁判所の許可は不要です。）
養子になる人が十五歳未満のときは、その法定代理人が署名してください。
また、その法定代理人以外に監護をすべきものとして父又は母（養父母を含む。）が定められているときは、その者の同意が必要です。（「その他」欄に記載署名するか、別の紙に書き、添付してください。）
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
「外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

字訂正
字削除
字加入

削除

（署名又は押印）

住所を定めた年月日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日

□令和□
□令和□
□令和□
□令和□

年の前に、年号のチェック欄を追加

		養子になる人		養親になる人	
(1)	（フリガナ） 氏名	養子　氏 / 名	養女　氏 / 名	養父　氏 / 名	養母　氏 / 名
	生年月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
(2)	住所 （住民登録をしているところ）				
(3)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	番地 番 筆頭者の氏名		番地 番 筆頭者の氏名	
(4)	父母の氏名 父母との続き柄	父 母	続き柄 男	父 母	続き柄 女
(5)	入籍する戸籍または新しい本籍	□養親の現在の戸籍に入る　□養子夫婦で新しい戸籍をつくる □養親の新しい戸籍に入る　□養子の戸籍に変動がない 番地 番 筆頭者の氏名			
	監護をすべき者の有無	（養子になる人が十五歳未満のときに書いてください） □届出人以外に養子になる人の監護をすべき□父　□母　□養父　□養母がいる □上記の者はいない			
	届出人署名 （※押印は任意）	印	印	養父　印	養母　印
(6)	（フリガナ） 氏名				
	生年月日				
(7)	住所 （住民登録をしているところ）				
(8)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）			番地 番 筆頭者の氏名	
	その他				
	新しい本籍（養親になる人が1組の筆頭者及びその配偶者でないときに、ここに新しい本籍を書いてください）			番地 番	

届出人

（養子になる人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも正し支えありません。）に書いてください。）

資格	親権者（□父　□養父）□未成年後見人　□特別代理人	親権者（□母　□養母）□未成年後見人
住所		
本籍	番地 番　筆頭者の氏名	番地 番　筆頭者の氏名
署名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日

証人

署名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日
住所		
本籍	番地 番	番地 番

連絡先	
養親 電話（　）　－ 自宅・携帯・勤務先・呼出（　）	養子 電話（　）　－ 自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

使者	住所			
	氏名		確認	済（マ・免・旅・　）・未

（R8.2）

市区町村使用欄	受付日時 令和　年　月　日　午前・午後　時　分

通知	令和　年　月　日		
本人確認	不受理申出確認	通知	

本人確認		
届出人	確認内容	通知
養父	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
養母	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要
養子	来・済（マ・免・旅・　）	要・不要

不受理申出の提出がないことを確認済	
届出人	確認先
養父 養母	（　）役所・役場 担当者（　）□端末確認
養子	（　）役所・役場 担当者（　）□端末確認

養子離縁届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日 第　号	発送	令和　年　月　日 長印
送付	令和　年　月　日 第　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
養子が十五歳未満のときは、離縁後に法定代理人となる人が署名してください。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
「外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

裁判離縁、死亡した者との離縁のときには、次のものが必要です。
調停離縁 → 調停調書の謄本　　認諾離縁 → 認諾調書の謄本
審判離縁 → 審判書の謄本と確定証明書　　判決離縁 → 判決書の謄本と確定証明書
和解離縁 → 和解調書の謄本　　死亡した者との離縁 → 許可の審判書の謄本と確定証明書

字訂正
字削除
字加入
削除
（署名又は押印）

		養子		養親	
(1)	（フリガナ） 氏名 生年月日	養子　氏　名 年　月　日	養女　氏　名 年　月　日	(7) 養父　氏　名 年　月　日	養母　氏　名 年　月　日
(2)	住所 （住民登録をしているところ）			(8)	
(3)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	番地 番 筆頭者の氏名		(9) 番地 番 筆頭者の氏名	
(4)	父母の氏名 父母との続き柄	父 母 続き柄 男	父 母 続き柄 女	その他	
(5)	離縁の種別	□協議離縁　□和解　年　月　日成立 □調停　年　月　日成立　□請求の認諾　年　月　日認諾 □審判　年　月　日確定　□判決　年　月　日確定 □死亡した者との離縁　年　月　日許可の審判確定			
(6)	離縁後の本籍	□もとの戸籍にもどる　□新しい戸籍をつくる　□養子の戸籍に変動がない 番地　番　（フリガナ）筆頭者の氏名			
	届出人署名 （※押印は任意）	印	印	養父　印	養母　印

届出人

（離縁する養子が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が３人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	離縁後の親権者（□父　□養父）□未成年後見人	離縁後の親権者（□母　□養母）□未成年後見人
住所		
本籍	番地　番　筆頭者の氏名	番地　番　筆頭者の氏名
署名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日
住所を定めた年月日	□令和　年　月　日	住所を定めた年月日　□令和　年　月　日

証人

（協議離縁又は死亡した者との離縁のときだけ必要です）

署名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日	大正・昭和 平成・西暦　年　月　日
住所		
本籍	番地　番	番地　番

連絡先	
養親 電話（　）　－ 自宅・携帯・勤務先・呼出（　）	養子 電話（　）　－ 自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

使者	住所			
	氏名		確認	済（マ・免・旅・　）・未

（R8.2）

特別養子縁組届

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理　令和　年　月　日 第　号	発送　令和　年　月　日
送付　令和　年　月　日 第　号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
特別養子縁組についての家庭裁判所の審判書の謄本と確定証明書が必要です。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川　西岸地区及びガザ地区）

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

	養子になる人	養親になる人
(1)	（フリガナ） 氏名	（フリガナ） 氏名 養父　氏　名　　養母　氏　名
	生年月日　年　月　日	生年月日　年　月　日　　年　月　日
(2)	住所 （住民登録をしているところ）	住所 （住民登録をしているところ）
(3)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください） 筆頭者の氏名	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください） 筆頭者の氏名
(4)	父母の氏名 父母との続き柄 父 母 続き柄 □男 □女	
(5)	審判確定の年月日　年　月　日	
(6)	養父母との続き柄　男　女	
	入籍する戸籍または新しい戸籍 □(3)の本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後下記養親の現在の戸籍に入る □養子の戸籍に変動がない □下記のとおり 養親の戸籍　番地　筆頭者の氏名	その他
		届出人署名（※押印は任意）　養父　印　　養母　印

住所を定めた年月日　　年　月　日

□令和
□

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

特別養子離縁届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。
特別養子離縁についての家庭裁判所の審判書の謄本と確定証明書が必要です。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ（ヨルダン川　西岸地区及びガザ地区）

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

		養子	養親
(1)	（フリガナ） 氏名	氏　名	養父　氏　名　養母　氏　名
	生年月日	年　月　日	年　月　日　年　月　日
(2)	住所 （住民登録をしているところ）		
(3)	本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	番地 番 筆頭者の氏名	番地 番 筆頭者の氏名
(4)	審判確定の年月日	年　月　日	
(5)	縁組前の本籍	番地 番 筆頭者の氏名	
(6)	父母の氏名 父母との続き柄	父 母 続き柄 □男 □女	
	離縁後の本籍	□もとの戸籍にもどる　□新しい戸籍をつくる　□養子の戸籍に変動がない 番地 番 （フリガナ） 筆頭者の氏名	
	その他		
	届出人	□父　□母　□養子 住所 本籍　番地　番　筆頭者の氏名 署名（※押印は任意）　印　年　月　日生	

住所を定めた年月日　年　月　日

□令和
□

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

帰　化　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 長 印
送付 令和 年 月 日 第 号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 氏　名	氏	名	年　月　日	
生年月日	（従前の氏名） 氏	名		
住　所				
父　母 （日本人のときは本籍を書いてください）	父　氏	名	父母との続き柄 □男 □女	父の国籍
	母　氏	名		母の国籍
帰化の際の国籍				
告示の年月日	令和　年　月　日			
帰化後の本籍	□新しい戸籍をつくる　□父・母の戸籍に入る　□養父・養母の戸籍に入る 番地 番 筆頭者の氏名			
住民となった年月日	□令和 □　年　月　日			
住所を定めた年月日	□令和 □　年　月　日			
世帯主・世帯員の別	□世帯主　□世帯員 世帯主の氏名（　）　世帯主との続き柄（　）			
その他	帰化事項のほかに記載すべき身分事項は、別紙「帰化者の身分証明書」のとおりです。			
届出人署名 （※押印は任意）	印			

届　出　人

（帰化した人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が３人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資　格	親権者（□父□養父）□未成年後見人	親権者（□母□養母）□未成年後見人
住　所		
本　籍	番地　筆頭者の氏名 番	番地　筆頭者の氏名 番
署　名 （※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

帰　化　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 長印
送付 令和 年 月 日 第 号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

	夫	妻
（フリガナ） 氏　名	氏　名	氏　名
	（従前の氏名）氏　名	（従前の氏名）氏　名
生年月日	年　月　日	年　月　日
住　所		
父母の氏名 父母との続き柄	父 氏　名　続き柄 母 氏　名　男	父 氏　名　続き柄 母 氏　名　女
父母の国籍 （日本人のときは本籍を書いてください）	父 母	父 母
帰化の際の国籍		
告示の年月日	令和　年　月　日	
帰化後の夫婦の氏と新しい本籍	□夫の氏　□妻の氏 番地 番 筆頭者の氏名	
住民となった年月日	□令和　年　月　日	年　月　日
住所を定めた年月日	□令和　年　月　日	年　月　日
世帯主・世帯員の別	□世帯主　□世帯員 世帯主の氏名（　） 世帯主との続き柄（　）	□世帯主　□世帯員 世帯主の氏名（　） 世帯主との続き柄（　）

その他	帰化事項のほかに記載すべき身分事項は、別紙「帰化者の身分証明書」のとおりです。
届出人署名 （※押印は任意）	夫　印　／　妻　印

連署人 （帰化した人の配偶者が日本人のときに書いてください）	
□夫　□妻	
住　所	
本　籍	番地 番　筆頭者の氏名
署　名 （※押印は任意）	印　年　月　日生

連絡先
電話（　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

（R8.2）

国籍取得届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日
送付 令和 年 月 日 第 号	長印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）
削除

	（フリガナ） 氏名	氏　名　年　月　日生 （従前の氏名）　氏　名
	住所	
	父母の氏名	父　氏　名 母　氏　名 父母との続き柄 □男 □女
(1)	父母の本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）	父　番地　番　筆頭者の氏名 母　番地　番　筆頭者の氏名
	国籍取得の年月日	令和　年　月　日　国籍取得の際の外国の国籍
(2)	氏を同一とする時の父又は母の本籍	番地　番　筆頭者の氏名
(3)	婚姻しているときは配偶者の氏名、本籍（外国人のときは国籍）	（配偶者）　氏　名　年　月　日生 番地　番　筆頭者の氏名 （婚姻の年月日）　年　月　日
(4)	養子となっているときは養親の氏名、本籍（外国人のときは国籍）	（養父）　氏　名　年　月　日生 （養母）　氏　名　年　月　日生 番地　番　筆頭者の氏名 （養子縁組の年月日）　年　月　日　養親との続き柄 □養子 □養女
	国籍取得後の本籍	□下記の新しい戸籍をつくる □(1)の戸籍に入る □(2)の戸籍に入った後下記の新しい戸籍をつくる □下記のとおり 新本籍　番地　番　筆頭者の氏名

住民となった年月日	□令和 □ 年 月 日
住所を定めた年月日	□令和 □ 年 月 日
世帯主世帯員の別	□世帯主 □世帯員 世帯主の氏名（　）　世帯主との続き柄（　）
その他	国籍取得事項のほかに記載すべき身分事項は、別紙「国籍取得証明書」のとおりです。
届出人署名（※押印は任意）	印

届出人
（国籍を取得した人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	親権者（□父□養父） □未成年後見人	親権者（□母□養母） □未成年後見人
住所		
本籍	番地　番　筆頭者の氏名	番地　番　筆頭者の氏名
署名（※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日

連署人
（国籍を取得した人の配偶者が日本人のときに書いてください）

□夫 □妻

住所	
本籍	番地　番　筆頭者の氏名
署名（※押印は任意）	印　年　月　日生

連絡先
電話（　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

（R8.2）

認　知　届
不 受 理 申 出

令和　　年　　月　　日 申出

長　殿

受付　令和　年　月　日 発収簿番号　第　号 整理番号　第　号	発送　令和　年　月　日
送付　令和　年　月　日 発収簿番号　第　号 整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

不受理申出の対象となる届出		認知の届出 過去にした認知の届出の不受理申出　□ 有　□ 無	
申出人の表示等		申　出　人	認知される子 （特定されている場合）
	氏　名		
	生年月日	年　月　日	年　月　日
	住　所 （住民登録をしているところ）		
	本　籍	番地 番	番地 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他			

字訂正
字削除
字加入
署名又は押印

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をします。

申出人署名 （※押印は任意）	印

注意事項

1　あなた自身が届出の当事者でない届出についての不受理申出は、することができません。

2　この不受理申出書は、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

3　原則として、申出人ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　原則として、不受理申出は、郵送による方法は認められません。

5　あなたが不受理申出をした後に転籍等により本籍地を他の市区町村に変更した場合には、以後、この申出は新本籍地市区町村に対する申出となります。

6　不受理の取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

7　不受理申出の意思を改めた場合には、原則として、ご本人であることを確認することができる書類を提示の上、自分で署名した取下書を窓口に提出してください。

8　相手方を特定した不受理申出に係る届出が適法に受理された場合には、この申出は、効力を失います。

申出人連絡先 （連絡方法の希望）	電話 （希望　　）

市町村使用欄	項　目	処　理	処　理　内　容　等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前／午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　　）
	不受理申出人の本籍の変更等による送付		送付　年　月　日 発収簿番号　第　号 新本籍地
	取下げ（失効）となった日及び事由		年　月　日 取下・失効（失効事由　　）

（R8.2）

婚　姻　届
不 受 理 申 出

令和　　年　　月　　日 申出

長　殿

受付　令和　年　月　日 発収簿番号　第　号 整理番号　第　号	発送　令和　年　月　日
送付　令和　年　月　日 発収簿番号　第　号 整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

不受理申出の対象となる届出		婚姻の届出 過去にした婚姻の届出の不受理申出　□ 有　□ 無	
申出人の表示等		申　出　人	夫又は妻になる人 （特定されている場合）
	氏　名		
	生年月日	年　月　日	年　月　日
	住　所 （住民登録をしているところ）		
	本　籍	番地 番	番地 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他			

字訂正
字削除
字加入
署名又は押印

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をします。

申出人署名 （※押印は任意）	印

注意事項

1　あなた自身が届出の当事者でない届出についての不受理申出は、することができません。

2　この不受理申出書は、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

3　原則として、申出人ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　原則として、不受理申出は、郵送による方法は認められません。

5　あなたが不受理申出をした後に転籍等により本籍地を他の市区町村に変更した場合には、以後、この申出は新本籍地市区町村に対する申出となります。

6　不受理の取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

7　不受理申出の意思を改めた場合には、原則として、ご本人であることを確認することができる書類を提示の上、自分で署名した取下書を窓口に提出してください。

8　相手方を特定した不受理申出に係る届出が適法に受理された場合には、この申出は、効力を失います。

申出人連絡先 （連絡方法の希望）	電話 （希望　　）

市町村使用欄	項　目	処　理	処　理　内　容　等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前／午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　　）
	不受理申出人の本籍の変更等による送付		送付　年　月　日 発収簿番号　第　号 新本籍地
	取下げ（失効）となった日及び事由		年　月　日 取下・失効（失効事由　　）

（R8.2）

離　婚　届
不 受 理 申 出

令和　　年　　月　　日 申出

長　殿

受付　令和　年　月　日	発送　令和　年　月　日
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	
送付　令和　年　月　日	
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

不受理申出の対象となる届出		離婚の届出 過去にした離婚の届出の不受理申出　□ 有　□ 無	
申出人の表示等		申　出　人	夫 又 は 妻 （特定されている場合）
	氏　名		
	生年月日	年　月　日	年　月　日
	住　所 （住民登録をしているところ）		
	本　籍	番地 番	番地 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他			

字訂正
字削除
字加入
署名又は押印

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をします。

申出人署名 （※押印は任意）	印

注意事項

1　あなた自身が届出の当事者でない届出についての不受理申出は、することができません。

2　この不受理申出書は、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

3　原則として、申出人ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　原則として、不受理申出は、郵送による方法は認められません。

5　あなたが不受理申出をした後に転籍等により本籍地を他の市区町村に変更した場合には、以後、この申出は新本籍地市区町村に対する申出となります。

6　不受理の取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

7　不受理申出の意思を改めた場合には、原則として、ご本人であることを確認することができる書類を提示の上、自分で署名した取下書を窓口に提出してください。

8　相手方を特定した不受理申出に係る届出が適法に受理された場合には、この申出は、効力を失います。

申出人連絡先 （連絡方法の希望）	電話 （希望　　）

市町村使用欄	項　目	処　理	処　理　内　容　等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前 午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　　）
	不受理申出人の本籍の変更等による送付		送付　年　月　日 発収簿番号　第　号 新本籍地
	取下げ（失効）となった日及び事由		年　月　日 取下・失効（失効事由　　）

（R8.2）

養子縁組届 不受理申出

令和　年　月　日 申出

長　殿

受付　令和　年　月　日	発送　令和　年　月　日
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	
送付　令和　年　月　日	
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

不受理申出の対象となる届出		養子縁組の届出 過去にした養子縁組の届出の不受理申出　□ 有　□ 無	
養親子関係人の表示		養子になる人（特定されている場合）	養親になる人（特定されている場合）
	氏名 生年月日	年　月　日	年　月　日
	住所 （住民登録をしているところ）		
	本籍	番地 番 筆頭者の氏名	番地 番 筆頭者の氏名
その他			

字訂正
字削除
字加入
署名又は押印

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をします。

申出人署名（※押印は任意）	印
生年月日	□ ~~明治~~ □ 大正 □ 昭和 □ 平成　年　月　日
住所（住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名

※養子になる人が15歳未満のときは、養子になる人に代わってその法定代理人が申出人となります。

注意事項

1　あなた自身が届出の当事者でない届出についての不受理申出は、することができません。

2　この不受理申出書は、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

3　原則として、申出人ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　原則として、不受理申出は、郵送による方法は認められません。

5　あなたが不受理申出をした後に転籍等により本籍地を他の市区町村に変更した場合には、以後、この申出は新本籍地市区町村に対する申出となります。

6　不受理の取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

7　不受理申出の意思を改めた場合には、原則として、ご本人であることを確認することができる書類を提示の上、自分で署名した取下書を窓口に提出してください。

8　相手方を特定した不受理申出に係る届出が適法に受理された場合には、この申出は、効力を失います。

9　15歳未満の方を養子とする縁組届の不受理申出を法定代理人の方から行っている場合は、ご本人が15歳に達したときは、改めてご本人から不受理申出をしていただく必要があります（養子が15歳未満である場合の離縁届の不受理申出についても同様です。）。

申出人連絡先（連絡方法の希望）	電話 （希望　）

市町村使用欄	項目	処理	処理内容等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前／午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　）
	不受理申出人の本籍の変更等による送付		送付　年　月　日 発収簿番号　第　号 新本籍地
	取下げ（失効）となった日及び事由		年　月　日 取下・失効（失効事由　）

（R8.2）

養子離縁届 不受理申出

令和　年　月　日申出

長　殿

受付　令和　年　月　日	発送　令和　年　月　日
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	
送付　令和　年　月　日	
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

不受理申出の対象となる届出	養子離縁の届出	
	過去にした養子離縁の届出の不受理申出　□有　□無	
養親子関係人の表示	養子（特定されている場合）	養親（特定されている場合）
氏名		
生年月日	年　月　日	年　月　日
住所（住民登録をしているところ）		
本籍	番地　番	番地　番
	筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他		

字訂正
字削除
字加入
署名又は押印

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をします。

申出人署名（※押印は任意）	印
生年月日	□明治 □大正 □昭和 □平成　年　月　日
住所（住民登録をしているところ）	
本籍	番地　番
	筆頭者の氏名

※養子が15歳未満のときは、養子に代わって離縁後の法定代理人が申出人となります。

注意事項

1　あなた自身が届出の当事者でない届出についての不受理申出は、することができません。

2　この不受理申出書は、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

3　原則として、申出人ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　原則として、不受理申出は、郵送による方法は認められません。

5　あなたが不受理申出をした後に転籍等により本籍地を他の市区町村に変更した場合には、以後、この申出は新本籍地市区町村に対する申出となります。

6　不受理の取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

7　不受理申出の意思を改めた場合には、原則として、ご本人であることを確認することができる書類を提示の上、自分で署名した取下書を窓口に提出してください。

8　相手方を特定した不受理申出に係る届出が適法に受理された場合には、この申出は、効力を失います。

9　15歳未満の方を養子とする縁組届の不受理申出を法定代理人の方から行っている場合は、ご本人が15歳に達したときは、改めてご本人から不受理申出をしていただく必要があります（養子が15歳未満である場合の離縁届の不受理申出についても同様です。）。

申出人連絡先（連絡方法の希望）	電話 （希望　）

市町村使用欄	項目	処理	処理内容等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前／午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　）
	不受理申出人の本籍の変更等による送付		送付　年　月　日 発収簿番号　第　号 新本籍地
	取下げ（失効）となった日及び事由		年　月　日 取下・失効（失効事由　）

（R8.2）

不受理申出の取下げ

令和　　年　　月　　日 取下げ

長　殿

受付　令和　年　月　日	発送　令和　年　月　日
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	
送付　令和　年　月　日	
発収簿番号　第　号	
整理番号　第　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

取下げをする申出	対象となる届出	□ 認知の届出　□ 婚姻の届出　□ 離婚の届出	
	申出人	取下げ時	不受理申出時（※）
	氏名		
	生年月日	年　月　日	年　月　日
	住所（住民登録をしているところ）		
	本籍	番地 番	番地 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他			

※取下げ時と異なるときだけ記載してください。

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をしていましたが、当該申出について取下げをします。

取下げをする者の署名（※押印は任意）	印
連絡先（連絡方法の希望）	電話 （希望　）

注意事項

1　この不受理申出の取下げは、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

2　原則として、この不受理申出の取下げは、郵送による方法は認められません。

3　原則として、取下げを行う方ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　不受理の取下げの取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

5　取下げをする方の氏名等が不受理申出をされた後に変更されている場合には、変更を証する書面の提出を求めることがあります。

市町村使用欄	項目	処理	処理内容等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前 午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　）

（R8.2）

不受理申出の取下げ

令和　　年　　月　　日 取下げ

長　殿

受付　令和　年　月　日	発送　令和　年　月　日
発収簿番号　第　　号	
整理番号　第　　号	
送付　令和　年　月　日	
発収簿番号　第　　号	
整理番号　第　　号	長　印
書類調査 / 戸籍調査	

取下げをする申出	対象となる届出	□ 養子縁組の届出　□ 養子離縁の届出	
	養子（となる者）	取　下　げ　時	不受理申出時（※）
	氏　名		
	生年月日	年　月　日	年　月　日
	住　所（住民登録をしているところ）		
	本　籍	番地 / 番	番地 / 番
		筆頭者の氏名	筆頭者の氏名
その他			

※取下げ時と異なるときだけ記載してください。

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

上記届出がされた場合であっても、わたしが市区町村役場に出頭して届け出たことを確認することができなかったときは、これを受理しないよう申出をしていましたが、当該申出について取下げをします。

取下げをする者の署名（※押印は任意）	印
生　年　月　日	□ 明治　□ 大正　□ 昭和　□ 平成　年　月　日
住　所（住民登録をしているところ）	
本　籍	番地 / 番 筆頭者の氏名
連　絡　先（連絡方法の希望）	電話 （希望　　）

注意事項

1　この不受理申出の取下げは、できるだけ本籍地の市区町村に提出してください。

2　原則として、この不受理申出の取下げは、郵送による方法は認められません。

3　原則として、取下げを行う方ご本人であることを確認することができる書類を提示する必要があります。

4　不受理の取下げの取扱いをすることについて市区町村・法務局からお問合せをする場合がありますので、確実な連絡先を記載してください。

5　取下げをする方の氏名等が不受理申出をされた後に変更されている場合には、変更を証する書面の提出を求めることがあります。

市町村使用欄	項　目	処　理	処　理　内　容　等
	受領日時分		令和　年　月　日　午前 / 午後　時　分
	本人出頭		□あり　□なし
	本人確認方法		マ・免・旅・その他（　　）

（R8.2）

死　産　届

令和　年　月　日　届出

長殿

受付	年月日	令和　年　月　日	調査票作成
	事件簿番号	死産第　　号	

		父	母
(1)	父母の婚姻直前の本籍（外国人のときは国籍を書いてください。）	都道府県　名	都道府県　名
(2)	氏名		
	生年月日（死産があったときの年齢）	年　月　日（満　歳）	年　月　日（満　歳）
(3)	死産児の男女別及び嫡出子か否かの別	□男　□女　□不詳	□嫡出子　□嫡出でない子
(4)	死産があったとき	令和　年　月　日　□午前 □午後　時　分	
	死産があったところ	番地　番号	
(5)	死産があったときの母の住所（住民登録をしているところを書いてください。）		
(6)	死産があったときの世帯の主な仕事と	□1.農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 □2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 □3.企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） □4.3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） □5.1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 □6.仕事をしている者のいない世帯	
(7)	父母の職業	（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに死産があったときだけ書いてください。） 父の職業	母の職業
(8)	この母の出産した子の数	出生子（出生後死亡した子を含む。）……人 妊娠満22週以後の死産児（この死産児を含む。）……胎 妊娠満21週以前の死産児又は流産死胎（この死産児を含む。）……胎	
	届出人	□父　□母　□同居者　□医師　□助産師　□その他の立会者	
		住所	
		氏名　印 （※押印は任意）	

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届は妊娠満12週以後（満12週を含む）の死産について、死産後7日以内に役場に出してください。

□にあてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

この死産証書又は死胎検案書の作成者は医師又は助産師ですが、医師・助産師ともに死産に立ち会った場合には医師が書いてください。

医師又は助産師の死産証書又は死胎検案書が得られないときは届出人はその理由を余白に書き死産の事実を証明しうる者が死産証書の(15)(16)(17)以外の各欄についてできるだけ書いてください。この場合標題の「死産証書」の「死産」の次に「（事実）」という文字を書いて「死産（事実）証書」としてください。

(11)胎児死亡の時期（妊娠満22週以後の自然死産に限る）で「分娩前」とは陣痛開始前をいい「分娩中」とは陣痛開始から胎児が娩出し終るまでをいいます。なお、陣痛開始前の切開分娩の場合は、執刀開始から胎児の娩出までを「分娩中」とします。

(5)原則として、以下の方が署名してください（届出人が署名した後、届書を持参する方は親族、その他の方でもさしつかえありません。）
嫡出子：父
嫡出子でない子：母

死　産　証　書（死胎検案書）

この死産証書（死胎検案書）は、我が国の死産統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

(9)	死産児の男女別	1 男　2 女　3 不詳	母の氏名
			妊娠週数　満　週　日
	死産があったとき	令和　年　月　日　午前・午後　時　分	
(10)	死産児の体重及び身長	体重　グラム	身長　センチメートル
(11)	胎児死亡の時期（妊娠満22週以後の自然死産に限る）	1 分娩前　2 分娩中　3 不明	
(12)	死産があったところ及びその種別	死産があったところの種別　1 病院　2 診療所　3 助産所　4 自宅　5 その他	
		死産があったところ　番地　番号	
		（死産があったところの種別1～3）施設の名称	
(13)	単胎・多胎の別	1 単胎　2 多胎（　子中第　子）　3 不詳	
(14)	死産の自然人工別 ◆胎児を出生させることを目的として人工的処置を加えたにもかかわらず死産した場合は「自然死産」とします	1 自然死産 2 母体保護法による人工死産 3 母体保護法によらない人工死産 4 不明	

			自然死産の場合 胎児の側	自然死産の場合 母の側	人工死産の場合		
(15) 自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由 ◆Ⅰの(ア)欄には直接原因又は理由を胎児の側か母の側のいずれかに分けて書き、さらにそれと因果関係のある原因又は理由があれば(イ)欄(ウ)欄と続けて、それぞれ胎児又は母の側に分けて書いてください ただし、胎児又は母の側いずれか決めかねる場合は、母の側に書いてください ◆自然死産か人工死産か不明の場合は、自然死産の欄に書いてください	Ⅰ	ア 直接原因又は理由			母体保護法による場合	1 母体側の疾患による	疾患名
		イ (ア)の原因				2 その他	理由
		ウ (イ)の原因					
		エ (ウ)の原因			母体保護法によらない場合	1 母体側の疾患による	疾患名
	Ⅱ	直接には死産に関係しないが、Ⅰ欄の経過に影響を及ぼした傷病名等				2 その他	理由
(16)	胎児手術の有無	1 無　2 有（部位及び主要所見）					
(17)	死胎解剖の有無	1 無　2 有（主要所見）					
(18)	1 医師 2 助産師	上記のとおり証明（検案）する　証明（検案）年月日　令和　年　月　日 本証明書（検案書）発行年月日　令和　年　月　日 （病院、診療所若しくは助産所の名称及び所在地又は医師若しくは助産師の住所）　番地　番号 （氏名）					

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により測定し、できるだけ正確に書いてください。

夜の12時は、「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

Ⅰ欄及びⅡ欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を中心に書いてください。

（R8.2）

親権(管理権)届

令和　　年　　月　　日 届出

長 殿

受理　令和　年　月　日 第　号						
通知(送付)　令和　年　月　日 第　号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

(フリガナ) 未成年者の氏名	氏　名　年　月　日生
住所 (住民登録をしているところ)	番地 番
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
(フリガナ) 親権者(管理権者)の氏名	氏　名　年　月　日生
住所 (住民登録をしているところ)	番地 番
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
(フリガナ) 親権者(管理権者)の氏名	氏　名　年　月　日生
住所 (住民登録をしているところ)	番地 番
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
届出事件の種別	□親権者指定　□親権喪失取消　□親権辞任　□管理権喪失取消　□管理権回復 □親権者変更　□親権停止取消　□親権回復　□管理権辞任 □父母(養父母)の協議　□許可の審判　年　月　日 □調停　年　月　日成立　□審判　年　月　日確定
その他	

字訂正
字加入
字削除

署名もしくは届出印

削除

記 入 の 注 意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1　台湾
2　パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)
そのほかに必要なもの
1　親権者の指定(父母の協議による場合を除く。)又は変更の届出について、調停によるときは調停調書の謄本、審判によるときは審判書謄本及び確定証明書
2　親権喪失、親権停止又は管理権喪失の審判取消しの届出については、審判書謄本及び審判確定証明書
3　親権又は管理権の辞任又は回復の届出については、許可の審判書の謄本

届出人	
資格	親権者(□父　□母　□養父　□養母)　□その他(　　)
住所	番地 番
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
署名 (※押印は任意) 生年月日	印 年　月　日
資格	(協議で親権者を定めたときは、協議の相手方が書いてください) 親権者(□父　□母　□養父　□養母)
住所	番地 番
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
署名 (※押印は任意) 生年月日	印 年　月　日

日中連絡の取れる電話番号	
	電話　(　　) 自宅・勤務先・携帯 呼出(　　)方
	電話　(　　) 自宅・勤務先・携帯 呼出(　　)方

転　籍　届

令和　年　月　日届出

長殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 長印
送付 令和 年 月 日 第 号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入 (1)

削除

(署名又は押印)

本籍		番地 番
	(フリガナ) 筆頭者の氏名	氏　名
新しい本籍 (2)		番地 番

おなじ戸籍にある人	(フリガナ) 筆頭者(名) (3)	(住所…住民登録をしているところ)
	配偶者 (4)	
	(5)	
	(7)	

住所を定めた年月日	
年　月　日	(6)
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	

□令和

□新本籍地確認済

その他		
届出人署名 (※押印は任意) 生年月日	筆頭者　印 昭和・平成 ( ) 年 月 日	配偶者　印 昭和・平成 ( ) 年 月 日

届出人

(転籍する人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙(届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。)に書いてください。)

連絡先
電話 (　　)
－
自宅・携帯・勤務先
呼出 (　　)

資格	親権者 (□父 □養父) □未成年後見人	親権者 (□母 □養母) □未成年後見人
住所		
本籍	番地 番　筆頭者の氏名	番地 番　筆頭者の氏名
署名 (※押印は任意) 生年月日	印 昭和・平成 西暦・( ) 年 月 日	印 昭和・平成 西暦・( ) 年 月 日

(R8.2)

入　籍　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 長 印
送付 令和 年 月 日 第 号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

□子の氏の変更
許可審判書謄本

(1) 入籍する人の氏名　（フリガナ）　氏　名　年　月　日生

住所

(2) （住所登録をしているところ）

(3) 本籍　番地　番

(4) 入籍の事由
□父 □養父 □母 □養母 □父母 □養父母 の氏を称する入籍
□父 □養父 □母 □養母 □父母 □養父母 と同籍する入籍
□従前の氏を称する入籍　（従前の氏を改めた年月日　年　月　日）

(5) 入籍する戸籍または新しい本籍
□すでにある戸籍に入る　□父または母の新戸籍に入る　□新しい戸籍をつくる
番地　番　筆頭者の氏名

(6) 父母の氏名　父
父母との続き柄　母　続き柄 □男 □女

その他

届出人署名（※押印は任意）　印

届出人

（入籍する人が十五歳未満のときの届出人または配偶者とともに届け出るときの配偶者が書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

連絡先
電話（　）
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

資格	親権者（□父 □養父）□未成年後見人 □配偶者	親権者（□母 □養母）□未成年後見人
住所	□ (2) 欄に同じ	□ (2) 欄に同じ
本籍	□ (5) 欄に同じ　番地　番　筆頭者の氏名　□ (5) 欄に同じ	□ (5) 欄に同じ　番地　番　筆頭者の氏名　□ (5) 欄に同じ
署名（※押印は任意）生年月日	印　年　月　日	印　年　月　日

住所を定めた年月日　年　月　日

□令和
□

（R8.2）

市区町村使用欄	受付日時 令和　　年　　月　　日　午前・午後　　時　　分

認　知　届

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長　印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

(署名又は押印)

削除

		認知される子		認知する父
(1)	(フリガナ) 氏名	氏　名	父母との続き柄	氏　名
	生年月日	年　月　日	□男 □女	年　月　日
(2)	住所 (住民登録をしているところ)			
(3)	本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください)	番地 番		番地 番
		筆頭者の氏名		筆頭者の氏名
(4)	認知の種別	□任意認知 □遺言認知（遺言執行者　年　月　日就職）	□審判　年　月　日確定 □判決　年　月　日確定	
(5)	子の母	氏名　年　月　日生 本籍　番地 番 筆頭者の氏名		
	その他	□未成年の子を認知する　□成年の子を認知する　□死亡した子を認知する　□胎児を認知する		
	届出人	□父　□その他（　）		
		住所		
		本籍　番地 番	筆頭者の氏名	
		署名 （※押印は任意）	印　年　月　日生	

連絡先
電話（　）
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

本人確認		
届出人	確認内容	通知
認知者	来・済（免・旅 マ・免・旅）	要・不要

不受理申出の提出がないことを確認済	
届出人	確認先
認知者	（　）役所・役場 担当者（　）

通知	令和　年　月　日		
本人確認	不受理申出確認	通知	

使者	住所			
	氏名		確認	済（マ・免・旅・　）・未

（R8.2）

分　籍　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　号		
送付	令和　年　月　日		長　印
	第　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 分籍する人の氏名	氏　名　　年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍 筆頭者の氏名	番地 番
新しい本籍	番地 番
父母の氏名 父母との続き柄	父　続き柄 母　□男 □女
その他	
届出人署名 （※押印は任意）	印

□新本籍地確認済

住所を定めた年月日　年　月　日

□令和
□

連絡先
電話（　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

（R8.2）

未成年者の後見届

令和　　年　　月　　日届出

長殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日 長印
送付 令和　年　月　日 第　号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁			

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

	後見を受ける人	後見（後見監督）をする人 □未成年後見人 □未成年後見監督人
（フリガナ） 氏名	氏　名	氏　名
生年月日	年　月　日	年　月　日
住所 （住民登録をしているところ）		
本籍	番地 番	番地 番
	筆頭者の氏名	筆頭者の氏名

届出事件の種別・原因	開始（就職）	□親権を行う人がいない □親権を行う人に管理権がない □未成年後見監督人が就職した	開始　年　月　日 就職　年　月　日
	終了	□未成年被後見人が成年に達した □親権者が親権（管理権）を回復した □未成年被後見人が親権に服することになった □未成年後見監督人の任務が終了した	終了　年　月　日
その他			
届出人署名 （※押印は任意）	印		

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

未成年後見人等の地位喪失届

令和　　年　　月　　日届出

長殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁			

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

	後見を受ける人	地位を喪失する人 □未成年後見人 □未成年後見監督人
（フリガナ） 氏名	氏　名	氏　名
生年月日	年　月　日	年　月　日
住所 （住民登録をしているところ）		
本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	番地 番 筆頭者の氏名	番地 番 筆頭者の氏名
地位喪失の原因	□死亡　□その他（　）	
地位喪失の年月日	年　月　日	
その他		

届出人	
	□後任者 □他の未成年後見人 □未成年者 □未成年者の親族 □未成年後見監督人
	住所
	本籍　番地　番　筆頭者の氏名
	署名　印　年　月　日生 （※押印は任意）

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

失　踪　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　号		
送付	令和　年　月　日		長　印
	第　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 失踪した人の氏名	氏	名　年　月　日生
最後の住所		
本籍	筆頭者の氏名	番地 番
死亡とみなされる年月日	年　月　日	
審判確定の年月日	年　月　日	
その他		
届出人	□夫　□妻　□父　□母　□その他（　）	
	住所	
	本籍	番地 番　筆頭者の氏名
	署名 （※押印は任意）	印　年　月　日生

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

復　氏　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 復氏する人の氏名	氏	名	年 月 日生
住所 （住民登録をしているところ）			
本籍	筆頭者の氏名		番地 番
（フリガナ） 復する氏父母の氏名 父母との続き柄	氏	父 母	続き柄 □男 □女
復氏した後の本籍	□もとの戸籍にもどる　□新しい戸籍をつくる		番地 番　筆頭者の氏名
死亡した配偶者	氏名		年 月 日死亡
その他			
届出人署名 （※押印は任意）			印

連絡先 電話（　　）　－ 自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

住所を定めた年月日　年　月　日

□令和
□

（R8.2）

離縁の際に称していた氏を称する届

（戸籍法73条の２の届）

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長　印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

(1)	（フリガナ） 離縁の際に称していた氏を称する人の氏名	（現在の氏名、離縁届とともに届け出るときは離縁前の氏名） 氏　　名 年　月　日生
(2)	住所 （住民登録をしているところ）	
(3)	本籍	（離縁届とともに届け出るときは、離縁前の本籍） 番地 番 筆頭者の氏名
(4)	（フリガナ） 氏	変更前（現在称している氏） 変更後（離縁の際称していた氏）
(5)	縁組年月日	年　月　日
(6)	離縁年月日	令和　年　月　日
(7)	離縁の際に称していた氏を称した後の本籍	((3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がない場合には記載する必要はありません） 番地 番 筆頭者の氏名
(8)	その他	
(9)	届出人署名 （※押印は任意） （変更前の氏名）	印

住所を定めた年月日　　年　月　日

□令和
□

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

姻族関係終了届

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　　号		
送付	令和　年　月　日		長　印
	第　　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁			

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 姻族関係を終了させる人の氏名	氏　名	年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）		
本籍		番地 番
	筆頭者の氏名	
死亡した配偶者	氏名	年　月　日死亡
	本籍	番地 番
	筆頭者の氏名	
その他		
届出人署名 （※押印は任意）		印

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・時間（　　）

（R8.2）

国籍喪失届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　　号		
送付	令和　年　月　日		長　印
	第　　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 国籍を喪失した人の氏名 （外国人としての氏名をローマ字で付記してください）	氏　　名　　年　月　日生
住所	世帯主の氏名
本籍	筆頭者の氏名　番地　番
喪失の年月日	年　月　日
喪失の原因	□ 志望により新たに（　　）国の国籍を取得した □ （　　）国の国籍をも有しているので離脱した □ （　　）国の国籍を選択した □ 国籍選択の催告を受けて選択をしなかった □ 国籍喪失の宣告を受けた
その他	
届出人署名 （※押印は任意）	印

届出人
（国籍を喪失した人以外の人が届け出るときに書いてください）

□夫　□妻　□父　□母　□その他（　　）

住所	
本籍	番地　筆頭者の氏名 番
署名 （※押印は任意）	印　年　月　日生

連絡先
電話（　　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　　）

記入の注意

国籍を喪失した人の氏名欄には、戸籍上の氏名を書くとともに、住民票の処理上必要なため、外国人としての氏名をローマ字で付記してください。

届出人署名押印欄に外国人としての氏名を書いたときは、戸籍上の氏名をカッコ書きで記載してください。

（R8.2）

氏の変更届

（戸籍法107条1項の届）

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
第　　号			
送付	令和　年　月　日	長印	
第　　号			

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

本籍　　番地

筆頭者の氏名　（変更前の氏名）　（フリガナ）

（フリガナ）
氏

変更前　　変更後

許可の審判　　年　　月　　日確定

おなじ戸籍にある人

	（フリガナ） 筆頭者　（名）	（住所…住民登録をしているところ）
	配偶者	

その他

次の人の父母欄の氏を更正してください

届出人署名 （※押印は任意） （変更前の氏名）	筆頭者 印	配偶者 印
生年月日	年　月　日	年　月　日

連絡先
電話（　　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　　）

記入の注意　筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

（R8.2）

名の変更届

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日 長印
送付 令和　年　月　日 第　号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ）
名を変更する人の氏名　（変更前）　氏　　名　　年　月　日生

住所

（住民登録をしているところ）

本籍　　番地番

筆頭者の氏名

（フリガナ）名	変更前	変更後

許可の審判　　年　月　日

その他　次の人の父母欄の名を更正してください

届出人署名（※押印は任意）（変更前の氏名）　　印

届出人

（名を変更する人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	親権者（□父 □養父） □未成年後見人	親権者（□母 □養母） □未成年後見人
住所		
本籍	番地番　筆頭者の氏名	番地番　筆頭者の氏名
署名（※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日

連絡先
電話（　　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　　）

記入の注意　筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

（R8.2）

就　籍　届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印

出頭調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

（フリガナ）
就籍する人の氏名　氏　名　年　月　日生

住所
（住民登録をしているところ）　世帯主の氏名

就籍するところ　番地
（本　籍）　筆頭者の氏名　番

就籍許可の年月日　令和　年　月　日

父母の氏名　父
父母との続き柄　母　続き柄 □男 □女

そ
の
他

届出人署名（※押印は任意）　印

届出人
（就籍する人が十五歳未満のときに書いてください）

□未成年後見人　□親権代行者

住所

本籍　番地　筆頭者の氏名　番

署名　印　年　月　日生
（※押印は任意）

連絡先
電話（　）
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

住所を定めた年月日	年　月　日

（R8.2）

離婚の際に称していた氏を称する届

（戸籍法77条の２の届）

令和　　年　　月　　日届出

長殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日 長　印
送付 令和　年　月　日 第　号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

(1)	（フリガナ） 離婚の際に称していた氏を称する人の氏名	（現在の氏名、離婚届とともに届け出るときは離婚前の氏名） 氏　　名　　昭和・平成（　）　年　月　日生
(2)	住所 （住民登録をしているところ）	
(3)	本籍	（離婚届とともに届け出るときは、離婚前の本籍）　番地 番 筆頭者の氏名
(4)	（フリガナ） 氏	変更前（現在称している氏） 変更後（離婚の際称していた氏）
(5)	離婚年月日	令和　年　月　日
(6)	離婚の際に称していた氏を称した後の本籍	（(3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がない場合には記載する必要はありません） 番地 番 筆頭者の氏名
(7)	その他	
(8)	届出人署名 （※押印は任意） （変更前の氏名）	印

住所を定めた年月日 □令和 □　年　月　日

連絡先
電話（　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　）

（R8.2）

国籍選択届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
	第　号		
送付	令和　年　月　日		長　印
	第　号		

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁		

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 国籍選択をする人の氏名	氏　名　　年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
現に有する外国の国籍	
国籍選択宣言	日本の国籍を選択し、外国の国籍を放棄します
その他	
届出人署名 （※押印は任意）	印

届出人

（国籍選択宣言をする人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	親権者（□父 □養父）　未成年後見人	親権者（□母 □養母）　□未成年後見人
住所		
本籍	番地　筆頭者の氏名 番	番地　筆頭者の氏名 番
署名 （※押印は任意） 生年月日	印 年　月　日	印 年　月　日

連絡先
電話（　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

（R8.2）

外国国籍喪失届

令和　年　月　日届出

長　殿

受理	令和　年　月　日	発送	令和　年　月　日
第　号			
送付	令和　年　月　日		長　印
第　号			

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁

字訂正
字削除
字加入

署名又は押印)

削除

（フリガナ） 外国国籍を喪失した人の氏名	氏　名　　年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
外国国籍の喪失の年月日	年　月　日
外国国籍の喪失の原因	
その他	
届出人署名 （※押印は任意）	印

届出人

（外国国籍を喪失した人以外の人が届け出るときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	□親権者（□父 □養父） □未成年後見人	□親権者（□母 □養母） □未成年後見人
住所		
本籍	番地 番 筆頭者の氏名	番地 番 筆頭者の氏名
署名 （※押印は任意） 生年月日	印 年　月　日	印 年　月　日

連絡先
電話（　）
－
自宅・携帯・勤務先
呼出（　）

（R8.2）

外国人との婚姻による氏の変更届

（戸籍法107条２項の届）

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長　印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 氏を変更する人の氏名	（変更前）　氏　　名　　年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
（フリガナ） 氏	変更前　　変更後
配偶者の氏名	氏　　名
婚姻年月日	令和　年　月　日
氏を変更した後の本籍	（氏を変更する人の戸籍に他の人がある場合のみ書いてください） 番地 番
その他	次の人の父母欄の氏を更正してください
届出人署名 （※押印は任意） （変更前の氏名）	印

記入の注意　筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

住所を定めた年月日　令和　年　月　日

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）

外国人父母の氏への氏の変更届

（戸籍法107条４項の届）

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長　印

書類調査	戸籍記載	記載調査	決裁	附票	住民票	通知

字訂正
字削除
字加入

（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 氏を変更する人の氏名	（変更前）氏　　名　　年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
（フリガナ） 氏	変更前　　変更後
許可の審判	年　月　日確定
外国人である父又は母の氏名	□父 □母　氏　名
氏を変更した後の本籍	番地 番
その他	
届出人署名（※押印は任意）（変更前の氏名）	印

届出人

（氏を変更する人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。）

資格	親権者（□父 □養父）□未成年後見人	親権者（□母 □養母）□未成年後見人
住所		
本籍	番地 番 筆頭者の氏名	番地 番 筆頭者の氏名
署名（※押印は任意）	印	印
生年月日	年　月　日	年　月　日

連絡先
電話（　　）
－
自宅・携帯・勤務先・呼出
（　　）

記入の注意

筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
~~変更後の氏には、よみかたを書いてください。これは戸籍には記載されません。~~
~~住民票の処理上必要とするものです。~~

住所を定めた年月日　令和　年　月　日

（R8.2）

外国人との離婚による氏の変更届

（戸籍法107条３項の届）

令和　　年　　月　　日届出

長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日 長　印
送付 令和　年　月　日 第　号	

書類調査	戸籍記載	記載調査	決　裁	附　票	住民票	通　知

字訂正
字削除
字加入
（署名又は押印）

削除

（フリガナ） 氏を変更する人の氏名	（変更前）　氏　　名 年　月　日生
住所 （住民登録をしているところ）	
本籍	番地 番 筆頭者の氏名
（フリガナ） 氏	変更前　　変更後
婚姻を解消した配偶者	氏　名
婚姻解消の原因	□離婚　□婚姻の取消し　□配偶者の死亡
婚姻解消の年月日	令和　年　月　日
氏を変更した後の本籍	（氏を変更する人の戸籍に他の人がある場合のみ書いてください） 番地 番
その他	次の人の父母欄の氏を更正してください
届出人署名 （※押印は任意） （変更前の氏名）	印

記入の注意　筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

住所を定めた年月日　令和　年　月　日

連絡先
電話（　　）　－
自宅・携帯・勤務先・呼出（　　）

（R8.2）